

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名 萩海運有限会社

○経営健全化方針を策定した理由

平成30年9月30日現在において、債務超過額が264,252千円発生しているため、策定したもの

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算 (平成29年10月1日～ 平成30年9月30日)	平成30年度決算 (平成30年10月1日～ 令和元年9月30日)	令和元年度決算 (令和元年10月1日～ 令和2年9月30日)
債務超過額	264,252千円	367,649千円	494,609千円
損失補償、債務保証 及び短期貸付けの合 計額（A）（千円）	340,000千円	440,000千円	640,000千円
標準財政規模（B）	17,656,742千円	17,346,786千円	17,482,883千円
（A）／（B）（％）	1.9%	2.5%	3.7%

※（A）期末の債務残高のうち萩市が損失補償を付した債務残高+期中に萩市が貸付けた短期貸付金

○主な取組状況（令和3年3月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・平成30年12月に公認会計士による経営診断を実施
- ・平成31年3月に見島～萩航路改善計画を策定
- ・平成31年4月に新船「ゆりや」が就航し、老朽船舶の修繕費が減少
(船費のうち修繕料 平成29年度：156,415千円→平成30年度：139,835千円
→令和元年度：79,993千円)
- ・平成31年4月に旧船「おにようず」売却(87,588千円)

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・平成29年度より航路運賃低廉化事業、輸送コスト支援事業、滞在型観光促進事業を実施
- ・令和元年度に島の「よろずや」整備費補助事業を実施し、乗客・貨物輸送量の増加を図る
- ・令和2年度より高齢者外出支援事業を実施し、乗客の増加を図る

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

	平成 29 年度決算 (平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日)	平成 30 年度決算 (平成 30 年 10 月 1 日～ 令和元年 9 月 30 日)	令和元年度決算 (令和元年 10 月 1 日～ 令和 2 年 9 月 30 日)
資産総額	88,000 千円	1,492,883 千円	1,411,704 千円
(うち現預金)	(36,613 千円)	(33,149 千円)	(127,290 千円)
(うち売上債権)	(2,876 千円)	(2,682 千円)	(2,629 千円)
(うち棚卸資産)	(2,055 千円)	(2,706 千円)	(2,083 千円)
(うち固定資産)	(7,373 千円)	(1,454,161 千円)	(1,278,986 千円)
(うち新船建造仮勘定)	(38,912 千円)	(0 千円)	(186 千円)
負債総額	352,252 千円	1,860,532 千円	1,906,313 千円
(うち未払金)	(11,588 千円)	(16,382 千円)	(15,267 千円)
(うち金融機関からの借入金)	(300,000 千円)	(400,000 千円)	(600,000 千円)
純資産額	△264,252 千円	△367,649 千円	△494,609 千円

(損益計算書から)

	平成 29 年度決算 (平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日)	平成 30 年度決算 (平成 30 年 10 月 1 日～ 令和元年 9 月 30 日)	令和元年度決算 (令和元年 10 月 1 日～ 令和 2 年 9 月 30 日)
海運事業収益	252,684 千円	310,120 千円	309,578 千円
海運事業費用	607,217 千円	771,134 千円	766,538 千円
特別収益	351,567 千円	514,477 千円	331,736 千円
特別費用	0 千円	156,634 千円	0 千円
兼営事業収益	6,292 千円	5,360 千円	3,922 千円
兼営事業費用	5,392 千円	5,586 千円	5,658 千円
当期純損益	△2,066 千円	△103,397 千円	△126,960 千円